

**指定管理者評価シート**

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	清田区市民部地域振興課(889-2024)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

**I 基本情報**

<b>1 施設の概要</b>			
名称	里塚・美しが丘地区センター	所在地	札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
開設時期	平成20年4月1日	延床面積	1,302.91㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	1階：多目的室、子育てサロン、まちづくりサロン 2階：視聴覚室、集会室1・2、実習室1・2、ラウンジ		
<b>2 指定管理者</b>			
名称	NPO法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

**II 令和2年度管理業務等の検証**

項目	実施状況	所管局の評価								
<b>1 業務の要求水準達成度</b>										
(1) 統括管理業務	<b>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</b> 地区センターのテーマを『つながる』と掲げ、地域住民が主体者となり活動できるようにコーディネートし、地域の居場所として、人と人とのつながりの豊かさを大切に、『何かないかと立ち寄りたくなる地区センター』を目指し、全員が『大きな声で挨拶をする』『声かけをする』を心掛けて運営した。 また、以下の4つの基本方針を掲げ、運営した。 1. 思いやりの心を大切に、あたたかさとのつながりを豊かにする。 2. 地域の課題や区民のニーズに即した事業を企画し、まちづくりを進める。 3. ボランティアや地域の担い手を養成し、区民の主体的な地域活動を支援する。 4. 個人とグループ、そして地域をつなぐネットワークを構築する。 <b>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</b> <b>▼ 貸室利用</b> ・「使用承認取り扱い要領」の遵守による運用の徹底 ・利用者に対する丁寧な説明。特に預かり確定時の、公平な処理、説明、連絡など ・コロナウィルスに関する変更の提案や、正確なキャンセル処理	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">各要求水準、基本方針に基づき、適正に運営されている</td> </tr> </table> <p>通常は、事務室の窓を常に開けた状態にし、来館者にはすぐに声をかけたり、事務所から出てコミュニケーションを取るよう心がけてきたが、コロナ対策として事務所から出て対応をすることは控えたが、ビニールカーテン越しに、来館者へ積極的な声かけを継続した。</p> <p>また、左記に掲げた4つの基本方針を常に意識して行動している。</p>	A	B	C	D	各要求水準、基本方針に基づき、適正に運営されている			
	A		B	C	D					
各要求水準、基本方針に基づき、適正に運営されている										

▼企画講座・交流事業

・情報を得るツールによって不公平が生じないように、札幌市の広報誌・館内告知・ホームページやFacebook・Twitter等での告知内容や公開時期に配慮した。

・事業への参加申し込みは基本的には先着順で受付を行った。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ロードヒーティングは常時手動で操作し、夜間は天気予報を確認して設定、日中も、できるだけ細めに入切をするよう心がけ節約に努めた。

▼館内で使用する事務用品等は、できるだけグリーン商品の購入を心掛け環境に配慮した。

▼毎月開催の「さとみ食堂」用の弁当容器をプラスチック製からメニューに応じて紙製に切り替えた。また、プラスチック製のスプーンや袋入りのおしぼり等も順次廃止した。お弁当の持ち帰り袋もバイオマス素材へ変更する等、SDGsのプラスチック削減に配慮した。

▼効率的な印刷や、印刷物の再利用を心掛け、コピー用紙の削減を図った。また、枚数の多い資料等は、輪転機で印刷することとし、インク代の削減を図った。

▼ペットボトルのキャップやリングブル・古切手等の回収やインクカートリッジの回収を実施、近隣の小学校や社協の回収事業に協力した。また、ごみ分別の徹底も行い、廃棄物の排出抑制を図った。

▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。

▼未使用室の照明や冷暖房等の管理徹底と空調の効率的運転により、二酸化炭素排出量の削減を図った。

▼電気使用量

・今年度の一般電気使用量は、68,820Kwhで、令和元年度より7,889Kwh下回り、前年比約90%となった。

・ロードヒーティングは、昨冬は降雪量の多い月が続き、雪が少なかった前年度に比べ5倍の使用量となった。子育てスペースの床暖房は、コロナウィルスの感染予防のため、サロンが中止となったため、毎月基本料金のみ支払いとなった。

▼ガス使用量

・今年度の一般ガスの使用量は140㎡で、休館や調理関連の利用が少なかったことで、前年使用量373㎡の半分以下となった。

一方、空調設備の使用量は、前年8,688㎡に対し、11,953㎡と大幅に増えた。これは、寒い季節にコロナウィルス感染予防のため、窓を開けて換気をしなが暖房をフルに活用していたことが大きな要因になっている。更に、1月はGHPが不調のため館内が暖まらず、夜通し暖房をつけたことも要因となった。

3月にGHPの修理を実施、暖房の不調は改善された。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

【組織・人員配置】

職種	配置部署	職務	雇用形態	数
館長	事務室	統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理・館長補佐	常勤	1
事務(120h以上)	事務室	事務・図書	非常勤	4
事務(100h以下)	事務室	事務・図書	非常勤	7
清掃	全館	清掃	非常勤	3

協定書に準じて人員を配置した。

3・6協定を締結し労基署に提出済。

▼4月より清掃職員が1名加わり、15名体制でスタートした。

2月には、公募で館長候補として常勤1名が入職した。翌3月末で開館当初より長年勤務していた75歳の夜勤者が退職した。

▼1日の清掃人員の2人体制が定着し、重複した時間でより細かく消毒等に配慮できるようになった。また、清掃職員による会議も実施し、コロナ対策の清掃方法などを話し合い、スキルアップを図った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼利用者への対応の統一(公平性)を図るために、毎月定例会議を実施し、話し合いを通して情報を確認、共有した。また、市やその他各方面からの情報なども、会議や朝礼・終礼などで確認し、議事録や日報などに記載、共有した。

▼今年度も通常業務で使用している様式を、職員全員がより正確に把握し遂行できるよう改善・見直しを図った。

▼1年を通して、コロナ対策に関する研修の他、ハラスメントについてや管理業務について、労務について等の研修をオンラインで受講し、スキルアップに努めた。  
また他にも、普通救命講習や、「こども食堂」を毎月開催していることから「食品衛生責任者養成講習」も受講した。

▼事務・経理・図書・清掃の研修は、適宜個別に行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼第三者委託の業務は以下の通り

- ①警備業務
- ②自家用電気工作物保安管理業務
- ③エレベータ保安管理業務
- ④自動ドア保安管理業務
- ⑤ガスヒートポンプ保安業務
- ⑥消防設備保安業務
- ⑦除排雪業務
- ⑧定期清掃業務(定期清掃・高所窓・床ワックス)
- ⑨喫茶業務
- ⑩排煙オペレーター装置保守業務
- ⑪建築基準法定期点検業務
- ⑫札幌市地区センター予約システム運用業務

外注委託に当たっては市内業者を優先し、市の了承のもと決定した。

仕様書にある作業回数を遵守し、作業には必ず職員が立ち会い、説明を受け確認した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 ※書面にて実施	令和2年6月15日(月) 18時30分～ ①令和元年度の事業報告 ②令和元年度 利用者アンケート実施報告 ③令和2年度 4月～5月の事業報告 ④令和2年度 今後の事業予定
第2回	令和2年11月27日(金) 18時30分～19時40分 ①令和2年度6月～10月の貸室別利用状況及び収入等の報告 ②令和2年度6月～10月の講座・交流事業・憩の場づくり事業等の報告 ③今年度の事業計画について ④意見交換・その他
<p>&lt;協議会メンバー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来委員会 委員長</li> <li>・里塚・美しが丘地区福祉のまち推進センター 代表</li> <li>・里美ふれあいクラブ 代表</li> <li>・里塚・美しが丘地区町内会連合会 会長</li> <li>・三世代サロンつながる 代表</li> <li>・里美少年消防クラブ・さとづか幼稚園 理事長</li> <li>・札幌市清田区市民部地域振興課 課長</li> <li>・里塚・美しが丘まちづくりセンター 所長</li> <li>・里塚・美しが丘地区センター指定管理者(NPO法人ワーカーズコープ)館長</li> </ul>	

第1回の開催は中止となったが、資料を取りまとめて各委員に送付、コロナ禍での現状について報告した。

11月はコロナ禍の為、短時間での開催となった。

コロナ対策を講じて出来る事業を実施してほしいとの要望や、特にさとみ食堂は継続を、との意見が出された。

一方、コロナの感染拡大で、身近にも感染が迫ってきている状況を共有し、対策の見直しや強化を図るよう提言があった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼指定管理費についてはNPO法人ワーカーズコープ本部が受取り、各現場(地区センター)は、資金依頼により、必要経費の送金を受けて運営している。

▼本部は公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼現金の取扱いについては、現金取扱規定を整備しており厳正に行っている。

▼利用料金は事務職員全員で慎重に取り扱った。(日勤、夜勤)

▼自主事業は別会計で厳正に管理した。

NPO法人ワーカーズコープが指定管理業務を行っている札幌市内のコミュニティ施設で共通の経理処理方法を採用、帳票類も使いやすいものに統一しており、スムーズに処理を行っている。

	<p>▼日勤から夜勤、夜勤から翌日の日勤へ、その日に発生した料金等に関する引継は確実に 行い、2重3重にチェックし、正確に処理する様心掛けた。</p> <p>▼現金の管理は毎日複数名で実施し、週に一度のペースで館長・経理担当者でチェックし、 最終的には月末・半期ごと・年度末にも確認した。</p> <p>▼利用料金収入・講座の受講料収入がある場合は、必ず領収書を発行した。また、出来る限 り翌日に銀行に入金するようにし、事務所には、必要な現金以外は現場に置かないように心 掛けた。</p> <p>▼コロナウイルス対応による返金発生時は、返金に関する書類の作成にあたり、2重3重に チェックをして、利用者へスムーズにそして間違いなく返金ができるよう全員で対応した。</p> <p><b>▽ 要望・苦情対応</b></p> <p>▼利用者からの要望・苦情を受ける体制として、子育てスペース横と事務所前に投書用紙 『利用者の声』を置いている</p> <p>▼今年度中に『利用者の声』で、寄せられた投書は1通のみで、「ラウンジで勉強中に、周り がうるさいことがあり対策してほしい」とのことだった。館内をこまめに見回り、必要な場合 は学習開放を実施したり、騒いでいるような場合は適宜声がけをした。</p> <p><b>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検 査等への対応、自己評価の実施)</b></p> <p>▼日常業務については、事務室勤務(事務所業務・図書カウンター業務・清掃業務等)のスタ ッフが日報を作成、その日報をもとに日勤担当者及び、清掃担当者で、朝礼を開き情報等 の共有を図った。また、夕方は、夜勤担当者の出勤に合わせて、日勤担当者及び夜勤担当 者で引継ぎを確実に実施し、情報の共有を日々実施した。</p> <p>▼今年度も、年度末に利用者アンケートを実施、その結果をまとめ、スタッフ全員で共有し、 指定管理者自己評価シートにも反映させた。また、全項目を掲載している評価シートの過去3 年間分を館内に設置、公開している。</p> <p>▼講座開催の際にはアンケートを必ず実施し、その中で参加者の満足度・理解度・要望・意 見等を聞き、次の事業の参考にした。</p> <p>▼札幌市に対する、報告類の提出は定められた形を遵守し、速やかに実施することを心掛 けた。</p>	<p>事故防止等の為、 極力銀行引落とし にしている。</p> <p>今年度を実施した 利用者アンケート はコロナウイルスの ため、利用が少なく 回収も少なかった。 集計結果では、接 客や施設管理等に ついては、概ね高 評価だった。</p> <p>実地検査について は適切に対応し、 指摘事項について は、速やかに改善 した。</p>									
<p><b>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</b></p>	<p><b>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</b></p> <p>▼施設で働く職員は、事務職員も清掃職員も同一時給とし、最低賃金は875円、勤務年数3 年以上の職員は890円としている。</p> <p>▼施設で働く職員に時間外労働又は休日労働をさせる場合は、書面による労使協定(36協 定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼職員全員が労災保険に加入し、条件を満たす者は雇用保険にも加入した。</p> <p>▼職員の勤務形態や、家族状況等に応じて厚生年金や健康保険に適切に加入した。また必 要に応じて適切に届出等を行った。</p> <p>▼雇い入れ時に、健康診断を実施した。</p> <p>▼120時間以上勤務する職員は、全員1年に1回、定期健康診断を実施した。また、短時間勤 務の職員にも健康診断の受診を積極的に勧めた。また、インフルエンザの予防接種も、希望 する職員全員に行った。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼多様な働き方・生き方の選択を可能にするためワークライフバランスの取組を推進した。</p>	<p>就業規則を定め、 それらを常時職員 が閲覧できる環境 を整えている。法 令順守はもちろん、 職員間のコミュニ ケーションを密に し、風通しのよい働 きやすい職場づく りを行っている。</p> <p>なお、就業規則に ついては、働き方 の多様化に伴い、 内容を精査、見直 し作業を進めてお り、2021年4月1日 より新しい就業規 定に改訂予定。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令遵守、雇用環境維持向上ともに適切に実施されている</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令遵守、雇用環境維持向上ともに適切に実施されている			
A	B	C	D								
法令遵守、雇用環境維持向上ともに適切に実施されている											

<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全については、前年度に引き続き、コロナウイルス感染予防のための消毒用品などを各所に配置、感染対策を職員全員や、各担当ごとに何度も話し合い随時改善を図った。 また、利用者の安全を損なうことのないよう、施設内を職員がこまめにチェックしてまわり、環境整備を行った。施設外周についても、清掃スタッフや夜間スタッフが同様に見回りを実施した。</p> <p>▼子育てサロンはコロナで中止が続き、感染状況を見ながら3カ月間だけ開催した。開催時は、安心して参加してもらえよう、検温・消毒のほか、スタッフはフェイスガードをつけて対応、サロンのメニューも密にならないよう工夫した。</p> <p>▼拾得物取扱いについては、金銭はその日のうちに交番に届け、利用者の忘れ物等については台帳で管理し一定期間保管、落とし主が現れた時に間違いのないように対応するなど、サービスの向上に努めた。</p> <p>▼連絡体制は、日常業務遂行上必要な連絡簿(外注委託業者等)を作成し、適宜迅速な連絡が取れる体制を敷いている。またスタッフ間での連絡体制(緊急連絡網)も確立している。</p> <p>▼損害賠償保険は、NPO法人ワーカーズコープとして「賠償責任保険」(人的保障一人につき1億円・1事故につき4億円をカバー)に札幌の全施設が加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼前述の12件の業務委託に関しては外注委託している。</p> <p>▼日常の備品管理・館内清掃・駐車場管理・建物周囲の管理はスタッフが担当した。</p> <p>▼今年度も、定期清掃の一部(床ワックス掛け)を障がい者の就労体験の場とし、B型の事業所へ業務を委託した。</p> <p>▼駐車場については10月と12月の2回、対物の事故があったがけが人もなく、当事者が保険で対応し処理した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼館内に入っている施設の職員と一緒に、自衛の消防訓練を7月と3月に実施し、消火器の使い方等を実際に確認した。</p>	<p>新型コロナの防止対策についてのアンケートを実施。利用者の声を安全対策に活かした。</p> <p>外注業務については市の求める仕様書に則り契約書を結び作業に当たった。</p> <p>作業には館長や保守点検担当者が立ち会い、説明を受け作業の報告書を保管している。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4">                     利用者の安全に配慮しながら、施設の維持管理やサービス向上に努めていると評価できる                 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	利用者の安全に配慮しながら、施設の維持管理やサービス向上に努めていると評価できる																																																															
	A	B	C	D																																																																			
利用者の安全に配慮しながら、施設の維持管理やサービス向上に努めていると評価できる																																																																							
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 学習機会の提供業務としての区民講座の開催</p> <p>・実施概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度計画</th> <th>令和2年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種目</td> <td>15</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>34</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>368(開催回数減分48含む)</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table> <p>・個別事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>開催した講座名</th> <th>実施回数</th> <th>目標人数</th> <th>参加人数</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>サークル応援講座「50歳からのフラダンス講座」</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>138%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>健康講座「認知症サポーター養成講座」</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>150%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>「高齢者のためのいきいき健康講座」3回予定</td> <td>2</td> <td>32</td> <td>56</td> <td>175%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>地域住民企画講座「天文講座」4回予定</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>39</td> <td>163%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「みんなの茶の間オープンカレッジ」12回予定</td> <td>9</td> <td>72</td> <td>88</td> <td>122%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>地域住民企画講座「みんなで書き初め」</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開催分の合計</td> <td>19</td> <td>152</td> <td>213</td> <td>140%</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度計画	令和2年度実績	種目	15	6	回数	34	19	人員	368(開催回数減分48含む)	213	No.	開催した講座名	実施回数	目標人数	参加人数	達成率	1	サークル応援講座「50歳からのフラダンス講座」	3	8	11	138%	2	健康講座「認知症サポーター養成講座」	1	8	12	150%	3	「高齢者のためのいきいき健康講座」3回予定	2	32	56	175%	4	地域住民企画講座「天文講座」4回予定	3	24	39	163%	5	「みんなの茶の間オープンカレッジ」12回予定	9	72	88	122%	6	地域住民企画講座「みんなで書き初め」	1	8	7	88%	開催分の合計		19	152	213	140%	<p>コロナウイルスの感染拡大で、9講座を中止し、2講座は回数を減らして実施した。</p> <p>コロナの感染対策をしっかりとれる講座のみ、定員等を減らしたり時間を短縮して開催した。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4">                     各事業において、感染対策・開催可否について検討されており、適切に実施されていると評価できる                 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	各事業において、感染対策・開催可否について検討されており、適切に実施されていると評価できる			
		令和2年度計画	令和2年度実績																																																																				
種目	15	6																																																																					
回数	34	19																																																																					
人員	368(開催回数減分48含む)	213																																																																					
No.	開催した講座名	実施回数	目標人数	参加人数	達成率																																																																		
1	サークル応援講座「50歳からのフラダンス講座」	3	8	11	138%																																																																		
2	健康講座「認知症サポーター養成講座」	1	8	12	150%																																																																		
3	「高齢者のためのいきいき健康講座」3回予定	2	32	56	175%																																																																		
4	地域住民企画講座「天文講座」4回予定	3	24	39	163%																																																																		
5	「みんなの茶の間オープンカレッジ」12回予定	9	72	88	122%																																																																		
6	地域住民企画講座「みんなで書き初め」	1	8	7	88%																																																																		
開催分の合計		19	152	213	140%																																																																		
A	B	C	D																																																																				
各事業において、感染対策・開催可否について検討されており、適切に実施されていると評価できる																																																																							

No.	中止した講座名	予定回数	目標人数	参加人数	達成率
1	地域住民企画講座「正しいラジオ体操講座」1回	1	16		
2	地域住民企画講座「簡単おうちパン講座」1回	1	8		
3	サークル応援講座「キッズイングリッシュ講座」3回	3	8		
4	サークル応援講座「キッズヒップホップ講座」2回	2	16		
5	暮らしのセンスアップ講座「こども体操講座」2回	2	32		
6	暮らしのセンスアップ講座「速く走るコツ講座」2回	2	40		
7	暮らしのセンスアップ講座「蕎麦打ち講座」2回	2	16		
8	「夏・冬休みこども工作講座」各1回	1	16		
9	シニアスクール生と行く芸術の森「陶芸体験」1回	1	16		
中止した講座の合計		15	168		

子供対象の講座や、食に関するもの、密になるようなものは全て中止した。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

・実施内容

	令和2年度計画	令和2年度実績
種目	16	4
回数	29	11
人員	1,785	795

・個別事業内容

No.	開催した事業名	実施回数	目標人数	参加人数	達成率
1	さとみ食堂(12回予定)	7	168	377	224%
2	ミニミニふれあい芸術祭	1	320	353	110%
3	土田英順チャリティーチェロコンサート	1	48	49	102%
4	スノーキャンドルフェスタ	2	16	16	100%
開催分の合計		11	552	795	144%

No.	中止した事業名	予定回数	目標人数	参加人数	達成率
1	さとみ食堂	5	150		
2	夏のつながるフェスタ	1	400		
3	冬のつながるフェスタ	1	320		
4	オカリナコンサート	1	24		
5	ミュージックベルコンサート	1	24		
6	AXIS SHOW TIME	1	40		
7	懐かしの歌謡うたごえ喫茶	1	40		
8	桂三段 落語会	1	32		
9	自治体復興支援チャリティーコンサート	1	40		
10	囲碁交流大会	3	115		
11	星空観察会	1	24		
12	月面観察会 1回	1	24		
中止した事業の合計		18	1,233		

不特定多数の来館者が集まる大規模なお祭りのイベントは中止したが、時間や会場をわけるなど、対策を講じて実施できるワークショップは開催し、久しぶりのイベントに子供たちが大喜びで参加していた。

「さとみ食堂」は、8月迄中止していたが、テイクアウト方式に変え、調理ボランティアとお客さんの接触を避ける形で9月から実施した。

「土田英順コンサート」は、観客数を制限し、フェンスを設置、接触のあるものは取りやめ、十分に対策をして開催した。観客はとても満足していたが、奏者にとっても今年度最初で最後のコンサートになり感謝の言葉を頂いた。

▽ 施設開放事業(無料)に関する業務

地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)

・実施内容

	令和2年度計画	令和2年度実績
種目	5	4
回数	345	55
人員	3,406	626

運動系のもものは、7月から11月中旬の期間のみ、対策を徹底し利用者数等を制限して実施したが、それ以外は中止とした。

・個別事業内容

NO	種目	予定回数	予定人数	実施回数	目標者数	利用者数	開催分の達成率
1	ふれあい開放	102	1,020	19	152	84	55%
2	卓球開放	52	416	15	96	233	243%
3	ミニバレー開放	51	612	16	154	157	102%
4	みんなの茶の間「手芸サロン」	103	618	0	—	—	—
5	子育てサロン「カンガルーホッケー」	37	740	5	80	152	190%
※参考	学習開放	適度	—	7	—	32	—
※参考	屋上広場開放	適度	—	—	—	—	—
計		345	3,406	55	482	626	130%

子育てサロンは、9月から隔週でスタートしたが、11月後半より中止となり、5回のみで開催だった。

学習開放は、7回実施したが、普段でも自習に来る学生が多く、利用者カードの記入や、消毒、間隔をあげての着席など、対策を徹底した。

▽ 図書業務(図書カウンター業務)

・利用状況

	令和元年度実績	令和2年度実績	対前年(率)
開館日数	266	264	99.2%
蔵書数	-	-	-
新規登録数	5	3	60.0%
利用者数	4,139	4,430	107.0%
貸出数	5,573	6,411	115.0%
返却数	7,710	7,779	100.9%
相互貸借件数	0	0	-
レファレンス件数	0	0	-

リピーターの利用者が増え、貸出し数・返却数ともに増加した。

・利用促進事業

▼中央図書館からの宣材物の配架は、利用者の目に留まりやすいように図書カウンターの横に設置した。

▼毎月発行の「地区センターニュース」に図書カウンターからのお知らせを掲載、ホームページでも紹介し利用を促した。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R元年度計画	R2年度計画	R2年度実績
多目的室	件数(件)	760	757	565
	人数(人)	18,500	18,440	8,291
	稼働率(%)	67.5%	64.4%	54.6%
集会室1	件数(件)	640	624	400
	人数(人)	4,283	4,187	1,760
	稼働率(%)	59.5%	58.4%	42.4%
集会室2	件数(件)	850	847	599
	人数(人)	8,200	8,177	3,707
	稼働率(%)	79.7%	79.4%	63.4%
実習室1	件数(件)	690	651	471
	人数(人)	5,625	5,225	3,160
	稼働率(%)	64.3%	60.3%	51.6%
実習室2	件数(件)	604	604	381
	人数(人)	4,800	4,800	2,042
	稼働率(%)	57.0%	57.0%	41.4%
視聴覚室	件数(件)	520	507	343
	人数(人)	8,018	7,823	3,513
	稼働率(%)	49.2%	47.9%	38.5%
※参考 屋上 多目的広場	件数(件)	0	0	7
	人数(人)	0	0	124
	稼働率(%)	0	0	-
合計	件数(件)	4,064	3,990	2,759
	人数(人)	49,426	48,652	22,473
	稼働率(%)	62.9%	61.2%	48.6%

コロナウィルスの感染拡大により休館も含めて貸室利用が大幅に減り、前年比約15%減の稼働率となった。

貸室が利用出来た期間も、密にならないための人数制限があり、続き部屋で広く使いたいという希望が増えたため、思うように予約が取れない状況になった。

A	B	C	D
制限が多いなかでも、積極的に利用促進について実施しており評価できる			

	<p>▽ 不承認 0件、取消し 0件、減免 0件、還付12件+コロナウイルス感染による還付154件</p> <p>▽ <b>利用促進の取組</b></p> <p>▼貸室の定期利用を目指して「サークル応援講座」を3講座企画したが、コロナで中止となり、唯一開催できたフラダンスの講座から新しいサークルが立ち上がった。</p> <p>▼利用条件緩和措置の周知(時間貸し・営利・飲酒等)を今年度も行った。特に時間貸しでは、キャンセル等で空いた大きな部屋をこまめに借りる団体がいくつか出てきた。</p> <p>▼毎月発行の地区センターニュースのほか、「広報さっぽろ」「ふりっぱー」「ひろまるる清田」など様々な媒体に情報掲載を依頼し、地区センターの認知度アップに努めた。</p> <p>▼周辺施設の休館等に伴う新たな利用者に、貸室や利用時間・曜日等について様々な提案を行い利用につなげた。</p>										
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ <b>広報業務</b></p> <p>▼ホームページを、新しく作り直した。コロナ禍で来館しなくても、たくさんの情報が得られるよう工夫して作成した。スマホで見ると利用者が多いことから、モバイル対応のデザインに一新した。また、見たい情報にすぐたどり着けるようウェブアクセシビリティにも配慮した。</p> <p>▼ウェブアクセシビリティについては、総務省の提供している評価ツールの「エムアイチェッカー」で、ホームページを更新する都度確認し、誰もが見やすいホームページの提供に努めた。</p> <p>▼ブログの配信を週1回から週2回ペースに増やし、FacebookやTwitterを活用して、タイムリーに幅広い層に向けて情報を発信した。</p> <p>▼インターネットシステムによる貸室予約を平成20年6月より継続して実施した。</p> <p>▼地区センターニュースを毎月発行。センターの運営状況、区民講座や交流事業・開放事業を詳細に記載し里塚・美しが丘地区及び平岡地区の町内回覧にて広報活動を継続した。</p> <p>▼毎月の行事予定をカレンダーにして印刷し受付で配布した。また、ホームページにもスマホ対応のカレンダーを掲載、常に最新の情報を公開した。</p> <p>▼子供対象の事業を開催の場合は、近隣の小学校へチラシを配架して参加を促した。</p> <p>▼館内に入っているまちづくりセンターや里美町連や福祉のまち推進センターとは常に情報を共有し、共催で事業を行ったり、それぞれの広報誌で情報を掲載するなど連携を図った。</p> <p>▼冬の大きなイベントは中止したが、交通安全啓蒙活動の一環として、今年度も三里塚小の児童を迎えて、豊平警察署・里美町連・まちづくりセンターと一緒に、前庭に雪像を制作した。</p> <p>▽ <b>引継ぎ業務</b> (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>ホームページのトップページに、利用の多い「貸室の予約」や「毎月のカレンダー」を掲載し、利便性を向上させた。</p> <p>また、コロナ対策の特設ページも作り、当館の対応を紹介した。</p> <p>近隣の郵便局や、児童会館にも地区センターニュースを配架、掲示した。</p> <p>連携事業の中止や延期などの情報は、その都度、話し合い共有した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積極的な広報業務を実施していると評価できる</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								
<p>2 自主事業その他</p>											
	<p>▽ <b>自主事業</b></p> <p>▼平成23年4月から札幌市と委託契約を結び、古紙回収ボックスの管理を引き続き行った。</p> <p>・<b>古紙回収実績</b></p> <p>・収入 4～3月 市奨励金 9,600円(前年度より1,400円増) 事業収入 7,420円(前年度より570円増)</p> <p>・支出 21,759円(コロナ対策用フェンス・非接触型体温計、病人発生時用毛布・血圧計)</p> <p>▽ <b>市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</b></p> <p>①<b>市内企業等の活用</b></p> <p>▼夜間警備業務、除排雪業務、電気設備点検、防火設備点検、空調設備点検等は、市内および区内の業者へ委託した。</p>	<p>年々、新聞・ダンボールの回収量が激減していたが、令和2年度はホームページや館内ポスター等で告知を行い、前年より少額ながら微増した。利用者への還元を今年も実施した。</p> <p>業務委託は全て市内または区内の業者とした。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>市内企業、福祉施設にも配慮がされており評価できる</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								



②福祉施設への配慮

▼1階喫茶コーナーは、区内の福祉施設のNPO法人ばおより、地元里塚の上保木青果店に運営が変わったが、引続き就労支援の場として提供した。

▼定期清掃(床ワックス掛け)を、清掃会社に委託したが、3回のうち1回はB型の施設と今年度も業務委託契約を結び、障がい者の就労体験の場として支援・協力した。

▼近隣の高齢者施設からの依頼で、備品の貸出しを行った。

▼1階と2階にそれぞれ飲み物の自動販売機を設置し、利用者が購入することによって市内の福祉団体の収入になっている。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

実施期間: 令和3年2月1日～2月28日  
来館者を対象に手渡しで配布して実施 (回収部数: 259部)

結果概要

年代

	回答数	構成比
～20代	26	10%
30～40代	35	13%
50～60代	113	44%
70代以上	85	33%
無回答	0	0%
	259	100%

【A:ご利用 貸室について】

Q1 ご利用目的は何ですか? (複数回答あり)

	回答数	構成比
サークル利用	183	69%
会議・研修・勉強会など	50	19%
講座・交流事業に参加	7	3%
無料開放	1	0%
フリースペース利用	10	4%
子育てサロンを利用(サロン含む)	2	1%
朝のラジオ体操会参加	1	0%
その他 無回答含む	12	4%
	266	100%

Q2 ご利用回数は?

	回答数	構成比
週1回	128	49%
月1回	41	16%
月2～3回	64	25%
その他	25	10%
無回答	1	0%
	259	100%

Q3 ご来館方法は? (複数回答あり)

	回答数	構成比
徒歩	25	10%
公共交通機関	20	8%
自家用車	210	80%
その他	1	0%
無回答	5	2%
	261	100%

Q4 主に利用される貸室の料金はいかがでしょうか?

	回答数	構成比
4 安い	41	16%
3	45	17%
2	90	35%
1	15	6%
0 高い	7	3%
無回答	61	23%
	259	100%

今年度は、2月の1カ月間、アンケート調査を実施した。

頂いた意見は、職員間で共有した。

今年度より、ジェンダーに関する多様性に配慮して、性別を聞く設問は廃止した。

A B C D  
日頃からの、業務や利用者に対する職員の姿勢が高評価につながっていると考えられ評価できる

自家用車での来館が年々増えてきたが、今年度初めて8割を超えた(前年は72%)。

駐車場は、近隣の施設にご協力を頂き対応しているが、借りられない時もある。

乗り合わせをお願いしているが、満車になることが多くあり、対応に苦慮している。

## Q5 貸室のご利用時間はいかがですか？

	回答数	構成比
4 利用しやすい	98	38%
3	53	21%
2	58	22%
1	5	2%
0 利用しづらい	1	0%
無回答	44	17%
	259	100%

## Q6 貸室の備品や設備などはいかがですか？

	回答数	構成比
4 使いやすい	81	32%
3	67	26%
2	55	21%
1	11	4%
0 使いにくい	1	0%
無回答	44	17%
	259	100%

## Q7 また貸室をご利用いただけますか？

	回答数	構成比
4 利用したい	134	52%
3	72	28%
2	9	3%
1	8	3%
0 利用したくない	1	0%
無回答	35	14%
	259	100%

## Q8 利用日の5日前時点で空いている部屋に限り、1時間からの「時間貸し」が利用できることをご存じですか？

	回答数	構成比
利用したことがある	45	17%
知っているが利用したことはない	47	18%
知らない	136	53%
無回答	31	12%
	259	100%

## Q9 夜間帯に限って、飲酒目的での利用ができることをご存じですか？

	回答数	構成比
利用したことがある	12	5%
知っているが利用したことはない	49	19%
知らない	169	65%
無回答	29	11%
	259	100%

## 【B:区民講座 交流事業について】

## Q10 地区センターで主催する「区民講座」を実施していることはご存じでしたか？

	回答数	構成比
知っている	128	50%
知らない	120	46%
無回答	11	4%
	259	100%

## Q11 区民講座を受講されたことはありますか？

	回答数	構成比
受講したことはない	210	81%
受講したことがある	16	6%
無回答	33	13%
	259	100%

HDMIケーブル対応のプロジェクターの利用希望が増え、旧機種は中継アダプターを購入して対応した。

また、接続の要望も多く、その都度職員が対応した。

コロナ禍で、比較的貸室があいていることが多く、前日や当日に申し込む時間貸しの利用が増えた。

## Q12 受講された区民講座の内容はいかがでしたか？

	回答数	構成比
4 満足	7	24%
3	14	48%
2 普通	8	28%
1	0	0%
0 不満	0	0%
( 無回答	230 )	
	29	100%

## Q13 地区センターで地域交流事業を実施していることはご存じでしたか？

	回答数	構成比
知っている	107	41%
知らない	138	53%
無回答	14	6%
	259	100%

## Q14 これらの地域交流事業に参加されたことがありますか？

	回答数	構成比
参加したことがある	182	70%
参加したことがない	35	14%
無回答	42	16%
	259	100%

## Q15 参加された交流事業の内容はいかがでしたか？

	回答数	構成比
4 満足	16	34%
3	19	41%
2 普通	11	23%
1	1	2%
0 不満	0	0%
(無回答	212)	
	47	100%

## Q16 参加した交流事業を何でお知りになりましたか？(複数回答あり)

	回答数	構成比
広報さっぽろ	20	25%
館内チラシ	27	35%
地区センターニュース	8	10%
町内会の回覧	14	18%
ホームページ	6	8%
地域メディア/SNS	3	4%
(無回答	196)	
	78	100%

## 【C:図書カウンターについて】

## Q17 図書カウンターを利用されたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	18	7%
ない	225	87%
無回答	16	6%
	259	100%

## Q18 図書カウンターや図書検索機の利用回数は？

	回答数	構成比
数回のみ	5	26%
月1回	1	5%
月に2～3回	4	21%
その他	9	48%
(無回答	240)	
	19	100%

ホームページを刷新したことから、大きな交流事業で、特設ページを作って公開したり、募集も初めてインターネットで受付けた。コロナ禍で何でも簡単にするのはなく、開催出来る方法を模索していきたい。

今年度の図書利用者は、4430名で、前年度4139名よりも300名ほど増えた。

今年度も、貸出時間の延長希望や、カウンター休止日の月曜や祝日も利用したいという意見があり、年間業務報告に記載して中央図書へ報告した。

## Q19 図書カウンターや図書検索機の使い勝手はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 使いやすい	4	19%
3	7	33%
2 普通	9	43%
1	1	5%
0 使いにくい	0	0%
(無回答 238)		
	21	100%

## Q20 図書に関する職員の接客態度はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	8	38%
3	5	24%
2 普通	8	38%
1	0	0%
0 悪い	0	0%
(無回答 238)		
	21	100%

図書カウンターでは、迅速で正確な対応を心掛けた。

## Q21 また図書カウンターをご利用いただけますか？

	回答数	構成比
4 利用したい	9	24%
3	6	16%
2	12	32%
1	10	26%
0 利用したくない	1	2%
(無回答 221)		
	38	100%

図書館が併設されていないので、かわりに寄贈本を集めた「さとみ文庫」を2階ラウンジに設置しており、本を手にとって選べることから、地域の方に幅広くご利用頂いている。

## 【D:清掃・館内の施設・職員について】

## Q22 1F・2Fフリースペース、トイレほか、館内全般の清掃状態はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	178	69%
3	53	20%
2 普通	15	6%
1	2	1%
0 悪い	0	0%
無回答	11	4%
	259	100%

女性スタッフが多くなり、細かなところまで館内美化に努めると同時に、消毒などのコロナ対策をしっかりと担ってもらった。

## Q23 貸室内、1・2Fのフリースペースやトイレほか、館内全般の備品管理や設備等の管理はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	149	57%
3	62	24%
2 普通	28	11%
1	3	1%
0 悪い	0	0%
無回答	17	7%
	259	100%

コロナ禍で、土足厳禁の実習室に備え付けのスリッパを、衛生面から廃止する案も出たが、利用者の利便性を考え、貸室の都度、職員が消毒作業を行った。同時に利用者へ、マイスリッパの持参も呼び掛けた。

## Q24 当館で障がい者就労体験を実施している「ベジカフェさとみ」をご存じですか？

	回答数	構成比
利用したことがある	81	31%
知っているが利用したことはない	66	26%
知らない	102	39%
無回答	10	4%
	259	100%

4月からカフェが休業していたが、9月に、地元の障がい者支援施設が非接触型で、野菜がメインのカフェをオープンした。

## Q25 当地区センターに古紙回収BOXが設置されているのをご存知ですか？

	回答数	構成比
利用したことがある	19	7%
知っているが利用したことはない	97	38%
知らない	134	52%
無回答	9	3%
	259	100%

## Q26 館内にある「まちづくりセンター」を利用したことがありますか？

	回答数	構成比
利用したことがある	30	12%
知っているが利用したことはない	84	32%
知らない	117	45%
無回答	28	11%
	259	100%

## 「利用したことがある」と答えた方

## Q27 職員の言葉づかいや態度・受付業務はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	19	63%
3	6	20%
2 普通	5	17%
1	0	0%
0 悪い	0	0%
(無回答 229)		
	30	100%

## Q28 地区センター職員の言葉づかいや態度・受付業務はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	166	64%
3	52	20%
2 普通	15	6%
1	0	0%
0 悪い	1	0%
無回答	25	10%
	259	100%

## 【E:総合評価】

## Q29 また里塚・美しが丘地区センターを利用したいと思いますか？

	回答数	構成比
4 利用したい	159	61%
3	70	27%
2	7	3%
1	7	3%
0 利用したくない	0	0%
無回答	16	6%
	259	100%

## Q30 里塚・美しが丘地区センター全体の評価(満足度)はいかがでしょう？

	回答数	構成比
4 良い	155	60%
3	66	25%
2 普通	15	6%
1	1	0%
0 悪い	0	0%
無回答	22	9%
	259	100%

まちづくりセンターが休みの土日に、まちセンの業務や手続きのことを聞かれ、空いている時間をお知らせしたり、わかることは都度対応した。

また、土日にしか来られない利用者のためにボランティア袋の配布も事務所で行った。

今年度も、概ね高評価を頂いたが、更に満足して頂けるよう、利用者の視点に立った運営を心掛けたい。

利用者からの意見・要望とその対応

### <アンケート調査でのその他意見>

鏡がない。  
ラウンジにコンセントやWiFiがあると良い  
2階の部屋、天井に設置してあるファンは取り外してお掃除をしたことがあるのでしょうか？ほこりがつまっているのでは？  
低いテーブルが5.6台あるとよい。  
いつも使用させて頂いております。ありがとうございます。  
ホウキが使いづらいので変えて欲しい。  
部屋に温度計や加湿器があるといいなと思います。  
パソコン講座、とても助かっています。  
多目的室が使われている時は、2階の窓を閉めたい。子供達の声がうるさく感じる時があります。  
広報でもっとPRしてほしい。  
掃除をしている時間が遅い。  
2階ラウンジの一角を使って有償でもいいので、ロッカーを設置して、サークル等の備品がおけるようになるとありがたい。  
利用しやすい。この施設は、利用者の立場に立って運営しているので、他のところの見本になると思っています。  
T公民館と比べて職員の対応が違う。だから、豊平区住民だけでも来館するのです。  
職員さんの対応がとてもよく施設は使いやすいとても感謝しています。いつも有り難うございます。  
市民の意見を聴いてほしい。  
アンケートの量が多すぎ。もっと少なくしてほしい。内容もしつこい。  
駐車場が狭く、臨時駐車場の検討を。  
古着等のリサイクル品を売ったり、場所を使わせてほしい。

### <新型コロナ感染防止対策についてのご意見・ご要望>

完璧な消毒で安心して利用しています。有難うございます。  
大変良い。  
費用等かかかって大変かと思いますが、トイレの紙タオルの設置、貸室への消毒スプレーやペーパータオルも十分な量を課して下さい安心して使え、とても助かっています。  
よい。2階の換気は？  
早くコロナウィルスが終息し、元通りの活動になることを祈っております。職員さんもコロナ対策ご苦労様です。もう少しの辛抱です。  
完璧に対応していると思います。  
消毒、清掃、とても良いと思います。  
コロナ禍で部屋を貸して下さい有難うございます。出掛けるところがあつて嬉しいです。

備品については、消耗品は順次買い替えを検討、利用頻度の多い移動式の鏡を1台購入した。

毎年必ず要望があるロッカーの設置については、次年度自主事業として設置を検討したい。

昨年度末より、コロナウィルス感染予防のために館内各所に手指の消毒液を設置、貸室の利用者には消毒セットを貸出し使用備品の消毒をお願いした。

トイレに設置のエアータオルの使用をやめ、ペーパータオルを置いた。

共有備品の給湯室の湯飲み茶わんや館内用スリッパは廃止した。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R2年度計画	R2年度決算	差(決算-計画)				
収入	29,346	28,302	▲ 1,044	コロナの影響でキャンセル・休館が続く中、厳しい経済状況ではあるが、支出や利益還元についてもニーズに対応したものであり評価できる			
指定管理業務収入	29,319	28,284	▲ 1,035				
指定管理費	23,353	23,353	0				
利用料金	5,226	4,140	▲ 1,086				
その他	740	791	51				
自主事業収入	27	18	▲ 9				
支出	29,147	27,882	▲ 1,265				
指定管理業務支出	29,147	27,881	▲ 1,266				
自主事業支出	0	1	1				
収入-支出	199	420	221				
自主事業による利益還元	30	22	▲ 8				
法人税等	80	80	0				
純利益	89	318	229				
<b>【参考】</b>		R2年度決算	内容				
指定管理業務による利益還元		256	下記のとおり				
▽ 説明							
<p>◆利用料金収入は、年間を通してコロナウイルス感染拡大で、キャンセルや休館が続き、最終的には計画より1,086千円の減だった。</p> <p>◆その他収入の中で決算欄には、講座・交流事業などの収入以外に利用料金の補填額も含めたため、51千円の増額となっているが、補填額を除いたその他収入は191千円となり、549千円の減額となった。</p> <p>◆自主事業による利益還元は、コロナ対策のためのラウンジ用フェンスや非接触型体温計を購入、また病人が発生した時に使える毛布や血圧計も揃えた。</p> <p>◆指定管理業務からの利益還元256千円については、毎年恒例のものとして、ミニミニふれあい芸術祭の体験材料代や、ラウンジ用雑誌購入などに93千円を充当した。</p> <p>単年度としては、利用の多い大型ミラーの購入費や、コンサートの経費に支出した。他にも、経年劣化の進んだ卓球台・トイレタンク・GHP室外機・屋上散水栓の修繕費として82千円支出した。</p> <p>また、利用者の安全確保のため、コロナ対策費として81千円を支出し、簡易フェンスや消毒用資材等を購入した。</p>							
				子育てサロンやさしみ食堂がほぼ中止だった為、必要な経費は次年度に繰り越した。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持	▼当団体は全国に拠点を持つ協同経営の組織であり、単独の事業所・現場の経営だけでなく、相互に安定経営を維持出来るように連携して改善を図っている。	/	
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	▼使用承認書・団体登録書・受講申込書・無料開放参加登録書等の個人情報のファイル等はロッカーに施錠して保管。 ▼情報公開についてはNPO法人ワークスコープが定める規定に則って、要求が有れば対応出来る体制にある。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>◆前年度まで右肩上がりに推移していた貸室の稼働率が、新型コロナの感染拡大のため43.5%に留まった。(前年度62.2%)</p> <p>◆1・2階のフリースペースは、誰もが気軽に利用できる地域の居場所として年々定着してきたが、時期によっては利用の制限を設けたり、利用自体をお断りすることがあった。 自習などで利用する学生や親御さんから、利用の可否の問い合わせが多く、フェンスで席を仕切ったり、消毒セットを常備したり、利用カードで着席した席も記入してもらうなど、感染対策と同時に万が一の時に感染ルートが追えるような体制をとって、出来るだけ利用してもらった。</p> <p>◆講座や交流事業は、参加者の安全を考慮して子供や高齢者対象のものや、食に関するもの、歌を歌うものなどが実施できなかったが、時期を考え、規模や内容を見直すことで対策を講じて実施できるものを選んで開催した。</p> <p>◆コロナの感染拡大でいったん中止となった「さとみ食堂」を、必要な人に食事を届けたいという思いから、調理ボランティアの協力を得て、テイクアウトに切り替えて再開した。</p>	<p>◆交流事業や区民講座など、地域の人が集い、つながりを深め、時には当事者として活躍できる事業を、情勢に合わせた新スタイルを模索しながら、安全対策を講じて積極的に展開する。</p> <p>◆環境に配慮し、地区センターとして出来るSDGsの取り組みを考え積極的に推進する。</p> <p>◆調理ボランティアの安全面を考慮しつつ「さとみ食堂」を継続する。本当に困っている家庭に「毎月やっているから来てね」というメッセージが届くためにも、可能な限り毎月実施する。</p> <p>◆従来からの紙ベース告知の継続と同時に、多世代・広範囲へ発信するツールとしてのホームページ・ブログ・フェイスブック・ツイッター等を更に活用し、地域間のオンライン・コミュニケーションを充実させる。情勢を鑑み双方向のオンライン講座等も検討する。</p> <p>◆日頃より職員間の連携を密にし、仕事に対する意識やスキルの向上を図り、利用者ひとりひとりにきめ細かなサービスを提供できるよう努めていく。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>幅広い年齢層に利用されており、臨機応変に対応することが求められるなか、利用者から高評価を得ていることは高く評価できる。コロナウイルスが感染拡大するなかでも、地域住民と連携し、ニーズに合わせた事業を試行錯誤しながら開催・運営する姿勢についても、設置目的に見合った適切な運営であり、高く評価できる。</p>	<p>これまでと同様、コロナウイルス対策を含めた危機管理・施設管理を徹底し、利用者・地域住民と積極的に関わり意見を聞きながら、信頼される地区センターとして、今後もアンケート結果の高評価やさらなる利用率アップに期待したい。</p>